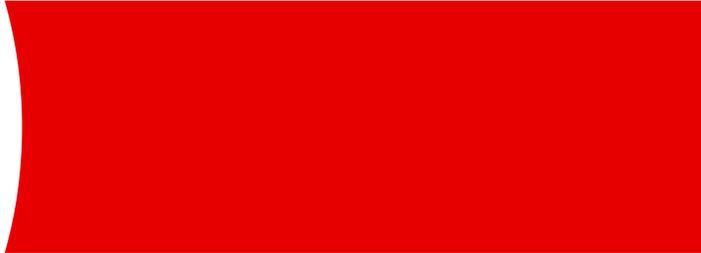


中国景気概況 (2021年5月)



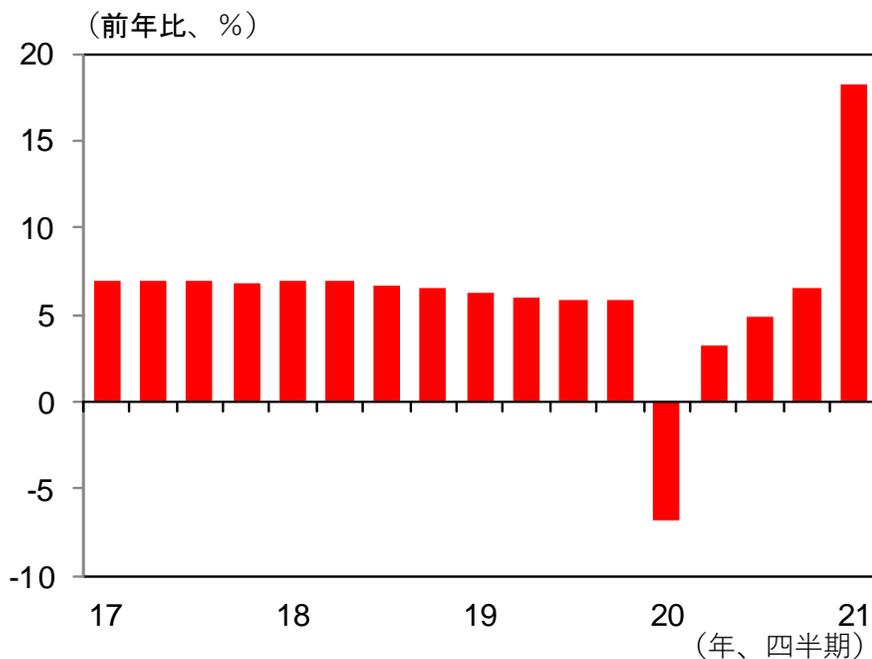
研究員 丸山健太 tel: 03-6733-1630
mail: chosa-report@murc.jp

景気は回復基調、PMI指数は足元で上昇

中国経済は回復基調が続いている。2021年第1四半期の実質GDP成長率は前年比+18.3%と、1992年以降で最大の伸びとなった。もっとも昨年同期の新型コロナウイルス感染症による落ち込みの反動が大きく、前期比で見ると+0.6%と、3%を超える増加を続けていた前2四半期と比べると伸び率は鈍化している。

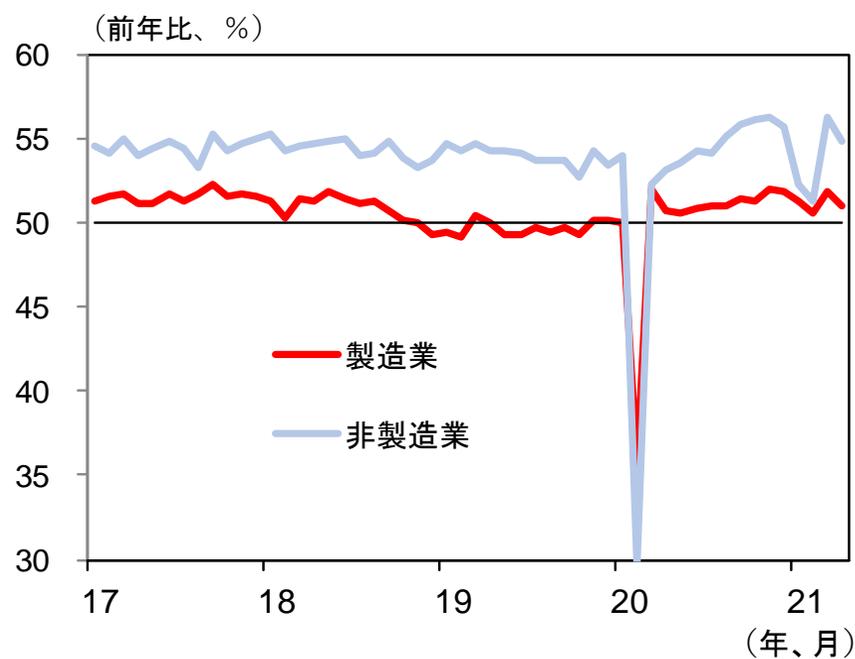
4月のPMI指数は製造業が51.1、非製造業54.9と、低下したが、いずれも景況感の境目である50を上回っている。

実質GDP(四半期)



(出所) 国家統計局

PMI指数

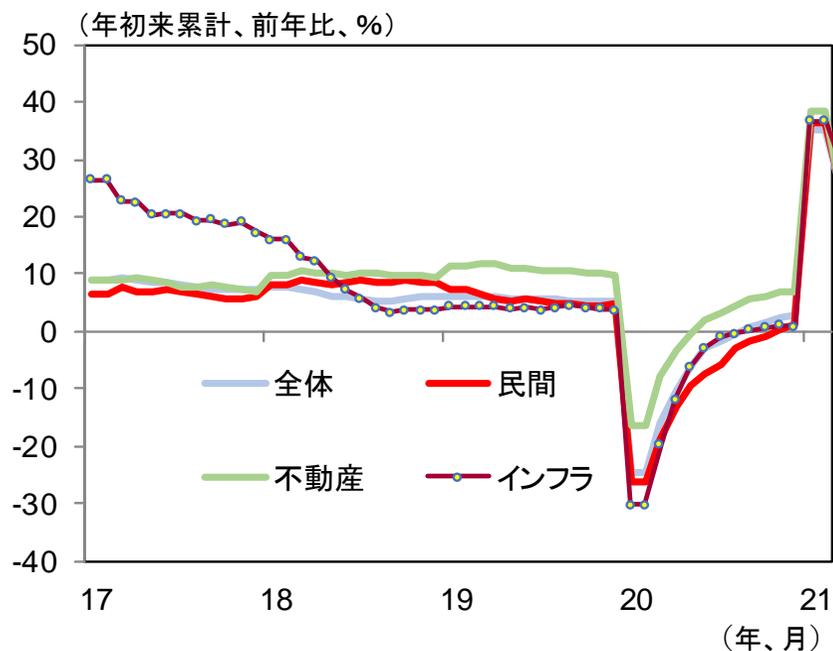


(出所) 国家統計局

固定資産投資、生産は大幅増加

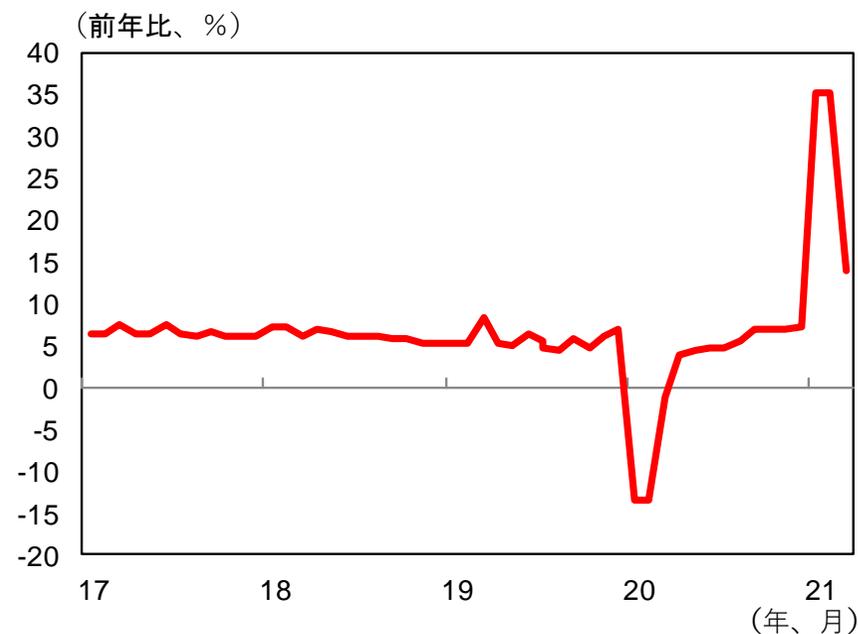
3月の固定資産投資(年初来累計値)は、前年比+25.6%と大幅な増加が続いた。民間投資(前年比+26.0%)、不動産投資(同+25.6%)、インフラ(同+29.7%)が軒並み増加した。また、3月の工業生産も前年比+14.1%と大幅な増加が続いた。特に医薬品や電子部品などの伸びが目立った。いずれも昨年前半のコロナ禍による落ち込みの反動で数字が上振れているが、それを割り引いても堅調に推移している。

固定資産投資



(出所) 国家統計局

工業生産



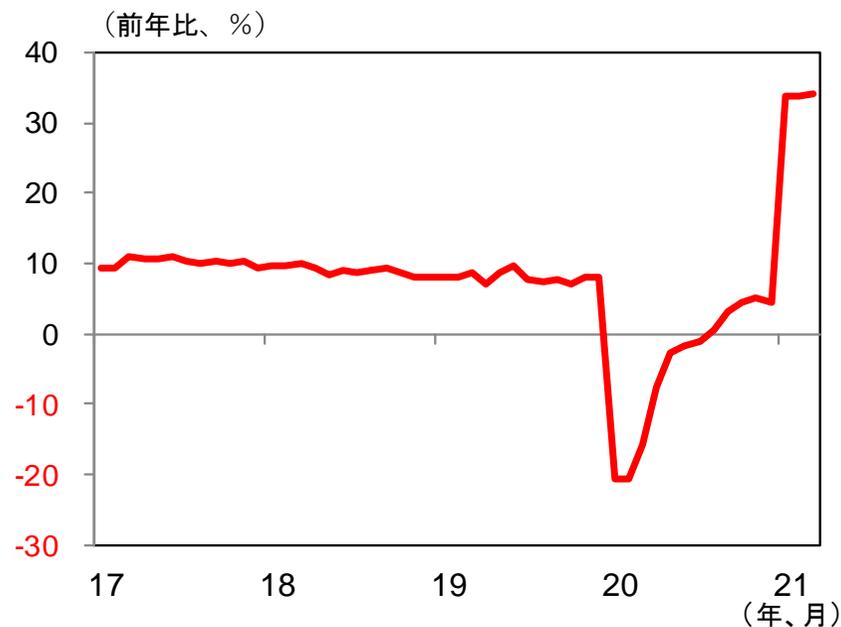
(出所) 国家統計局

消費は回復、物価は持ち直し

3月の小売売上高(名目)は前年比+34.2%と高い伸びが続き、個人消費は回復している。コロナ禍による落ち込みの影響を除くため、2019年3月比でみると、小売は+14.3%と順調に回復する一方で、飲食は+1.9%と増加は小幅にとどまる。オンライン消費は前年比+29.9%(2年前比+28.9%)と高い伸びが続く。

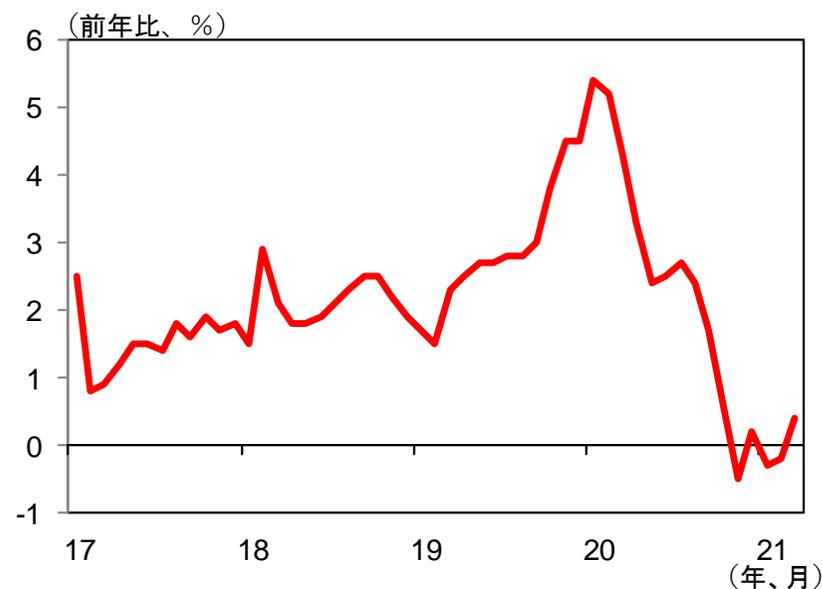
3月の消費者物価上昇率は前年比+0.4%と上昇に転じた。ガソリン価格、軽油価格の上昇が全体を押し上げた。

小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

消費者物価指数

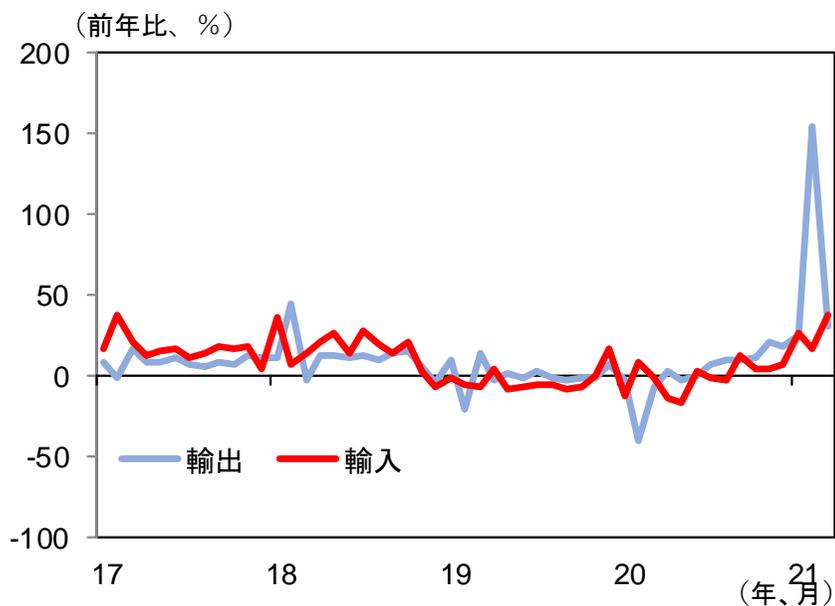


(出所) 国家統計局

輸出入とも増加が続く

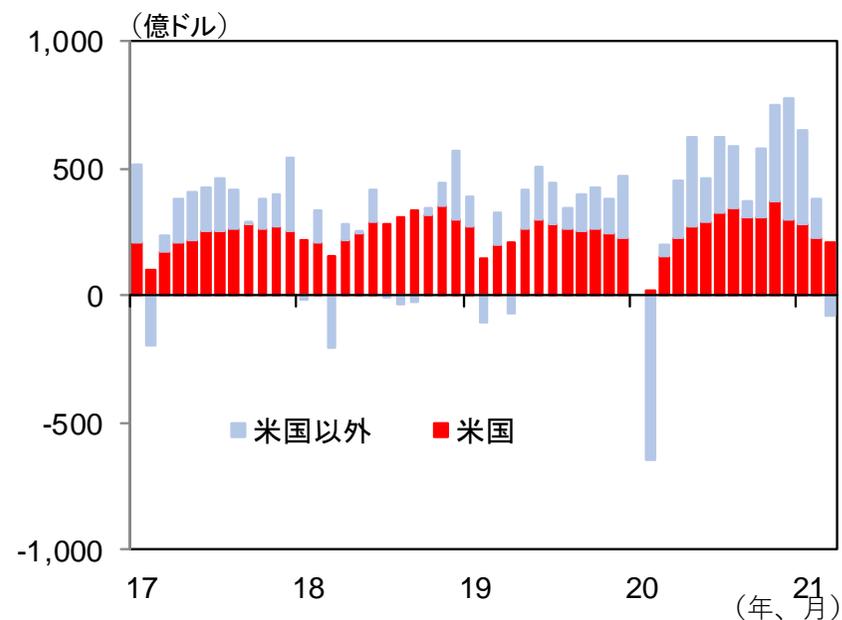
3月の輸出は前年比+30.6%、輸入は同+38.1%と増加が続いた。輸入の伸びの方が大きかったことから貿易黒字は138億ドルと、前年同月(199億ドル)から縮小した。輸出は、品目別では電子部品やPC類の寄与が大きかった。貿易収支を国別にみると、対米国(214億ドル)や対EU(90億ドル)などの黒字幅が、前年同月から拡大した。

財輸出入



(出所) 海関総署

貿易収支

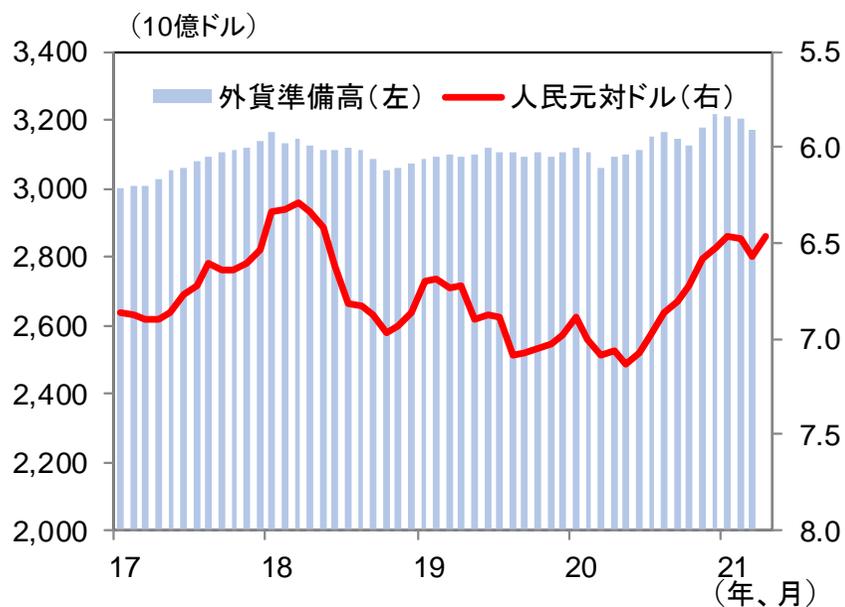


(出所) 海関総署

為替は小幅元高、株価はもみ合い

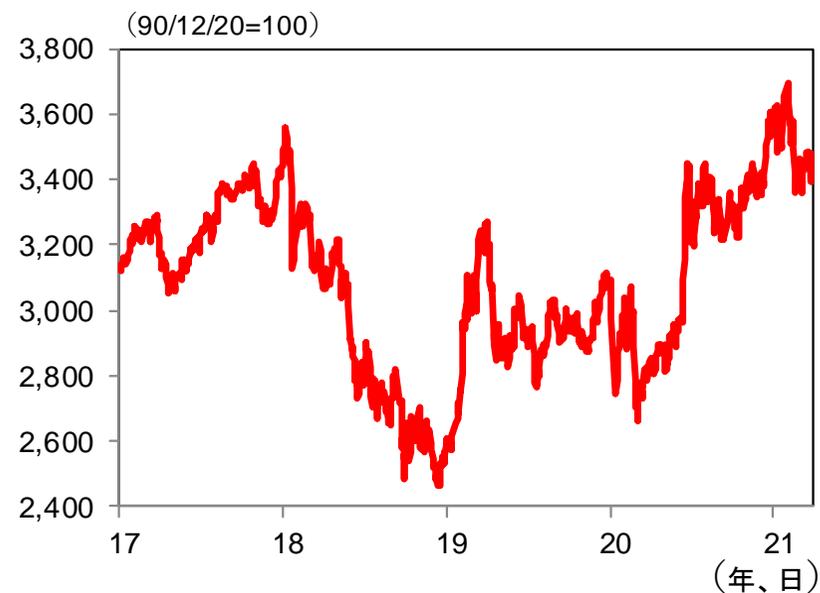
人民元の対ドルレート(4月末値)は1ドル=6.47元と、4月は一貫して元高方向で推移した。米国金利の上昇一服と中国経済の堅調さが背景にあるとみられる。3月末時点での外貨準備高は3兆1700億ドルと、3ヶ月連続で減少した。4月の上海総合株価指数は、3450pt近傍でもみ合いとなっている。(4/30:3446.86pt)。

外貨準備高



(出所) 中国人民銀行

上海総合株価指数

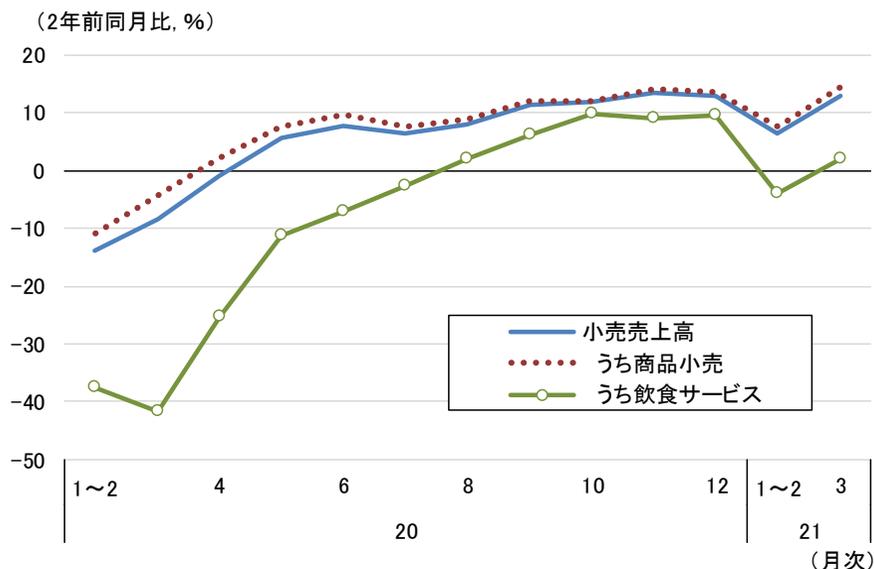


(出所) 上海証券交易所

回復が遅れる接触型サービス産業

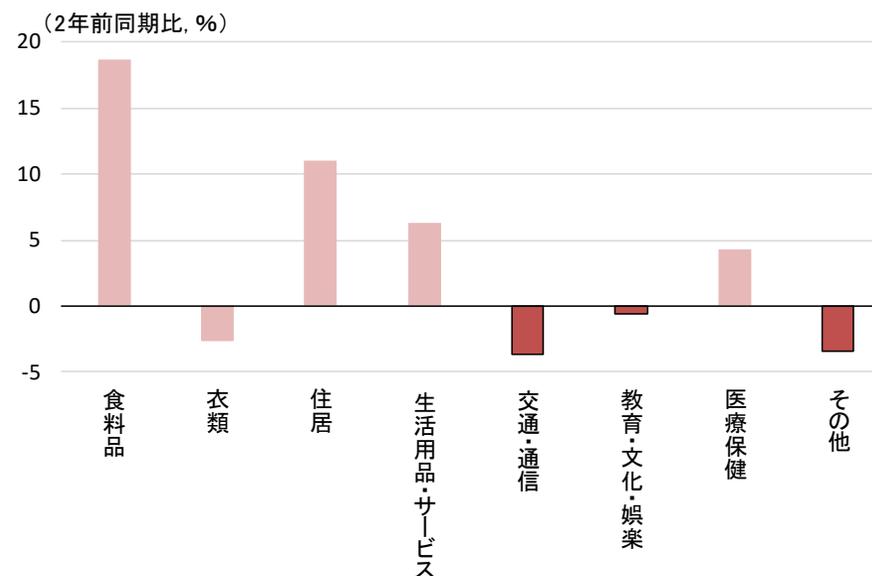
他国に先駆けて景気回復を実現している中国経済であるが、接触型サービスの回復が遅れている。小売売上高を見ると、飲食サービスは商品小売に比べ回復ペースが遅い(左図)。さらに消費支出を見ると、「交通・通信」や「教育・文化・娯楽」、旅行・宿泊、理美容などを含む「その他」で、2年前比での減少が目立つ(右図)。年明け以降、河北省などでクラスターが発生しており、中国でも感染症の流行は依然として接触型サービスの回復の重石となっている。

小売売上高(2年前同月比)



(注) 1~2月は1~2月累計値の2年前同月比。
(出所) 国家統計局より当社試算

一人当たり消費支出
(2021年第1四半期、2年前同期比)



(出所) 国家統計局

-
- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 - また、本資料は、講演者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
 - 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
 - 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
 - 本資料の全部または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。